

# 令和5年度事業報告

本法人では、昭和62年4月の養和荘の開所以降、順次施設整備等を行い、令和5年度は14の拠点において延べ36事業に取り組みました。

基本理念である「選ばれる事業所・親しまれる事業所」に基づき、春日井市を中心とした尾張北部地域における障害福祉事業の担い手として、障害のある方々がより安心して暮らせるよう安全かつ適正なサービスを提供すると共に、経営基盤の安定化、健全な法人運営に努め、サービスの質や職員の資質の向上を図りました。

令和5年度の主な事業実績につきましては、以下のとおりです。

なお、各拠点別の事業報告明細書は、別添のとおりです。

## 1. 中期計画の推進

### (1) 施設整備

「グループホーム花桃」の3棟目（グループホーム（気噴・高森台）の移転先）として、「ひばり」棟を令和4年度に整備し、令和5年4月に運用を開始しました。

### (2) 計画の推進

法人の基本理念を踏まえ、今後の施設・事業所運営の指針となる四つの基本方針に沿って定めた目標の達成、着実な推進に向け、基本方針ごとに設けた委員会において取組を行うと共に、計画の中間年であることから、進捗状況の点検・確認を行いました。点検・確認の結果、取組事項については変更せず、継続実施とすることとし、取組が不十分な項目について、推進スケジュールの見直しを行いました。

【計画期間】 令和3年度から7年度までの5か年

中期計画基本方針	委員会名	委員会の主な取組内容（5年度）
I. サービスの質の向上	サービス向上	・労災分析・BCP作成、虐待防止担当者情報交換会の開催 等
II. 地域貢献	地域貢献	・地域生活拠点事業の進行管理 等
III. 人材の育成	人材育成	・職員研修計画の策定、業務負担軽減策の検討 等
IV. 健全で透明性の高い運営	経営会議	

## 2. 財政基盤の安定

障害福祉サービス等事業収入については、入所施設が堅調に推移する一方、就労系事業所において利用者の減少があったこと等により当初の想定を下回りました。また、人件費については、人事院勧告を参考に賞与を0.1月分上乗せする他、令和6年2月分から開始された新たな処遇改善等増加要因があったものの人件費総額において当初の想定を下回りました。さらに、水道光熱費について、電気・ガス代の上昇が落ち着き、当初の想定7割程度に留まったこと等、費用が当初の想定を下回り、当期の資金収支差額は前期末に比べ約4千6百万円増加の約1億3千百万円となりました。

## 3. 人材の確保・育成

新卒者10名程度の採用や年度途中で退職による欠員補充ができるよう、就職情報サイトの活用や就職説明会への参加により求人活動を行うと共に、職員の定着や職員のスキルアップを図るため新たな処遇改善手当の支給や研修の充実に努めました。

### (1) 職員の採用（正規職員）

#### ア. 採用状況

令和5年4月2日～令和6年3月31日採用9名（支援員6名、事務員2名、栄養士1名）

令和6年4月1日採用 10名（支援員8名、事務員2名）

イ. 正規職員登用

3名

(2) 職員の退職

令和5年度中退職者 16名(定年1名、自己都合15名)

(3) 職員の処遇改善

これまでの処遇改善手当、特定処遇改善手当及びベースアップ手当に加え、令和6年2月・3月分について、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金を活用した新たな処遇改善として、正規職員1人当たり月額6,000円(契約職員については1時間あたり30円)の特別手当を支給しました。

(4) 職員研修の充実

ア. 新規採用職員研修(12名)とフォローアップ研修(12名)の実施

イ. 知的障害を理解するための基礎講座(4名)

ウ. 知的障害援助専門員養成通信教育の受講(13名)

エ. 新任副主任研修の実施(20名(令和4年度昇格者10名、令和5年度昇格者10名))

オ. 新任主任研修への参加(県社協 3名)

カ. 新任管理職員研修への参加(県社協 1名)

キ. 社会福祉法人経営塾への参加(全国社会福祉法人経営者協議会 2名)【新規】

ク. 日本知的障害者福祉協会・愛知県知的障害者福祉協会等が主催する研修に参加

4. 会議等の開催

事業報告・収支決算や事業計画・収支予算の審議及び理事長の職務執行状況の報告等のため、理事会を8回、評議員会を5回開催しました。

理事会8回のうち3回及び評議員会5回のうち1回は、早期の議決が必要であり役員が一堂に会するいとまがなかったこと及び法人運営の効率化を図る観点から、理事会及び評議員会の開催自体を省略して書面で賛否を問い、同意を得る方法(決議の省略)としました。

(1) 理事会

開催日		議題等
1	4月18日	【議題】①臨機の措置(予算外の新たな義務の負担)及び令和5年度第1次補正予算(案)②令和5年度第1回評議員会の開催
2	5月26日	【議題】①令和4年度計算書類・事業報告(附属明細書含む)及び財産目録の承認②定時評議員会の開催③令和5年度第2次収支補正予算(案) 【報告事項】①理事長の職務の執行状況
3	6月14日	【議題】①理事長の選任②評議員選任・解任委員の選任③苦情解決第三者委員の選任④法人運営貢献者の表彰
4	10月4日 (決議の省略)	【議題】①評議員選任・解任委員会の開催及び評議員候補者の推薦②法人運営貢献者の表彰
5	10月23日 (決議の省略)	【議題】①はるひ荘結露対策工事に係る発注先の選定、契約条件及び請負契約の締結
6	11月20日	【議題】①規程等の制定・廃止及び改正(電子署名規程の制定、育児休業等に関する規程・介護休業等に関する規程・職員就業規則・契約職員等就業規則・決裁規程・懲戒規程の改正、セクシャルハラスメント防止規程・パワーハラスメント防止規程・セクシャルハラスメント防止に関する苦情処理委員会規程の廃止及びハラスメントの防止に関する規程の制定)②令和5年度第3次収支補正予算(案)③令和5年度第3回評議員会の開催④役員賠償責任保険 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②中間監事監査の結果③令

		和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果 ④中期計画の進捗状況
7	12月14日 (決議の省略)	【議題】①令和5年度第4次補正予算(案)
8	3月14日	【議題】①定款の変更 ②規程等の改正(職員給与規程・経理規程・役員旅費支給規程の改正) ③令和5年度第5次収支補正予算(案) ④令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案) ⑤福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による処遇改善 ⑥令和6年度資金運用計画 ⑦令和5年度第4回評議員会の開催 ⑧幹部職員の人事異動 【報告事項】①中期計画の見直し ②職員等の採用・退職の状況 ③令和6年度社会福祉法人養楽福祉社会監事監査計画

(2) 評議員会

	開催日	議 題 等
1	4月26日	【議題】①臨機の措置(予算外の新たな義務の負担)及び令和5年度第一次補正予算(案)
2	6月14日	【議題】①令和4年度計算書類及び財産目録の承認 ②令和5年度第2次収支補正予算(案) ③役員を選任 【報告事項】①令和4年度事業報告 ②理事長の職務の執行状況
3	11月30日	【議題】①令和5年度第3次収支補正予算(案) 【報告事項】①理事長の職務の執行状況 ②中間監事監査の結果 ③中期計画の進捗状況
4	12月25日 (決議の省略)	【議題】①令和5年度第4次補正予算(案)
5	3月25日	【議題】①定款の変更 ②令和5年度第5次収支補正予算(案) ③令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案) ④役員を選任 【報告事項】①中期計画の見直し ②職員等の採用・退職の状況 ③幹部職員の人事異動 ④令和6年度社会福祉法人養楽福祉社会監事監査計画

(3) 評議員選任・解任委員会

	開催日	議 題 等
	10月30日	【議題】退任評議員の補欠の選任

(4) 監事監査

実 施 日	監 査 内 容
5月11日	令和4年度決算監査
10月12日・17日・18日	各施設等の巡回業務監査

(5) 運営会議

運営会議を年6回開催し、各施設の現況を共有すると共に、経営改善・事業間調整・サービス向上など施設運営に関する重要事項を協議しました。

5. 経営・労務管理の改善

平成28年度から公認会計士の助言・指導を受けながら、各種規程や資産管理の見直しなど経営・労務管理の改善に取り組んでおり、令和5年度においては、公認会計士による監査の試行、理事長

との意見交換を実施し、専門家の知見を生かした経営・労務管理の改善に努めました。

## 6. 苦情解決体制の整備

「社会福祉法人養楽福祉会福祉サービスに関する苦情解決規程」に基づき、苦情解決のための体制を整えており、令和5年度は、総合相談支援センター、わかば、たかもりで各1件、合計で3件の苦情が寄せられました。

苦情の内容は、総合相談支援センターにおいては、退職した職員の事務処理が適切でなかったことに加えケースの引継ぎ状況について対応した職員の言動が適切さを欠いたことに対する不信感及び適切な処理を求めるもの。わかばでは、利用者間のプレゼントの受渡に係るトラブルへの職員の対応が場当たりのであったことに対し、改善を求めるもの。たかもりでは、送迎時における配席について利用者の相性や状態を踏まえた対応を求めるものでした。

全ての申出者に対しては、苦情解決責任者である施設長等から謝罪や再発防止対策の説明により納得いただくと共に、関係職員への指導を行い、職員間での情報共有を図りました。

今後とも職員の意識を高め利用者、家族への丁寧な対応に努めてまいります。

## 7. サービス評価の実施

福祉サービスの質の向上を図るため、平成27年度から「福祉サービス第三者評価」を受審しており、令和5年度は、養和荘、第二養和荘、はるひ荘及びさいおワークスで実施しました。

## 8. 障害者虐待防止

「虐待防止対応規程」に基づき、虐待の未然防止や虐待発生時における迅速な対応と虐待の検証、再発防止策の検討を行いました。

虐待通報については、2つの入所施設及び1つの通所事業所であわせて3件あり、このうち「はさま」において、利用者を短期入所先に迎えに行った際、送迎車両への誘導中、職員が大きな声をあげ利用者を強引に扱ったとして身体的虐待及び心理的虐待があったと認定されました。

これらの通報事案の他、日々の支援を行う中で職員が気づいた事項について、施設・事業所の虐待防止委員会において検証し、再発防止策を講ずると共に、法人全体で検証結果等を共有しました。

## 9. 感染予防対策

新型コロナウイルス感染症について、令和5年5月から感染症予防法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類相当とされたところですが、感染拡大の第9波となった6月から9月末にかけて入所施設内での感染拡大や、通所事業所利用者及び職員の感染が確認されました。入所施設で感染者が確認された場合は、個室内での療養を基本とし、施設内での更なる感染拡大が起らないようフロア単位での感染拡大防止策を講ずると共に、日常においては、マスクの着用、手指の消毒、換気の励行といった基本的な対策を行いました。

## 10. 事業継続計画(BCP)の整備等について

令和4年度までに策定したBCP(大規模地震等の非常災害)に基づき、入所施設及び通所事業所において訓練を行い、必要に応じて見直しを行ったほか、感染症発生時に対応するBCPについて策定を進めました。

## 11. ICTの推進

業務の効率化及び事業所内の情報共有を図るため、就労系の通所事業所(なかぎりワークス、さいおワークス、わかば、キッチン高森)に記録管理システムを導入すると共に、グループホームにおいては、記録管理システムに加え市内に点在するホームの世話人の勤怠管理を円滑に行うためのシステムを導入しました。

また、給与明細の電子配付や、所得税に係る年末調整事務の電子化を進める他、人事評価につい

て人事評価システムを導入し、庶務事務に係るペーパーレス化を推進しました。

1 2. 借入金返済

借入先	年度当初借入残高	借入額	償還額	年度末借入残高
福祉医療機構	923,895 千円	0 千円	70,368 千円	853,527 千円
瀬戸信用金庫	371,179 千円	0 千円	29,556 千円	341,623 千円
合計	1,295,074 千円	0 千円	99,924 千円	1,195,150 千円

1 3. 施設整備積立金

前年度末積立額	年度中積立額	年度中取崩額	年度末積立額
228,861 千円	33,101 千円	0 千円	261,962 千円

◎運用状況等（令和 6 年 3 月 31 日）

前年度末積立額のうち 2 億円は、将来発生する大規模修繕資金等に充てるため、令和 4 年末から償還期間 5～7 年の社債で運用しています。

年度中積立額は、例年どおり GH 家賃相当額及び寄附金を積み立てました。